

## 事業計画書

事業名	多様な移住者の能力が発揮される交流の場「うみねこオープンカフェ」の開催
実施場所	静岡県沼津市大手町4-5-3 NewStand+
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和7年 6月 1日 ～ 令和7年 3月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

市内最大規模の移住者コミュニティが中心となり、沼津市の中心部カフェを活用した月1回の交流イベント「うみねこオープンカフェ」を開催。誰でも自由に立ち寄れる空間と、移住者によるミニセミナーを通じて、移住者と地域住民の相互理解と定着を促進し、孤立の解消と地域活性化を目指します。

## ◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

移住者コミュニティとして市内最大規模を誇る私たちは、普段Discordを通じたオンライン交流を中心に活動しています。その一方で、移住者が真に「地域に根ざす」ためには、対面でのコミュニケーションが不可欠であると考え、オフラインでのイベントにも力を入れてきました。これは、リアルなイベントを通じて地域住民や移住者同士が直接顔を合わせることで、お互いの理解が深まり、地域への定着機会が生まれると信じているからです。

しかし、現状我々は常設のオフラインで交流する場を持っておらず、月1回の頻度で開催している定期交流会も、飲食代が参加者負担となるため、参加のハードルが高いという課題がありました。

そこで本事業では、毎月1回、市内中心部のカフェを半日貸し切り、誰でも自由に立ち寄ることができる「うみねこオープンカフェ」を実施します。通常のカフェとしての営業だけではなく、時間中には、移住者自身が講師となって自身の得意分野に関する発表を行う「ミニセミナー」を実施。多様な移住者によるそれぞれの才能を発揮する場を用意することで、移住者同士だけでなく、地元住民はもちろん、沼津に関心を持つすべての人（未来の移住者）との交流の提供し、オンラインとオフラインをつなぐ新たな交流拠点を創出します。

## ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
6月	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。</p> <p>※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。</p> <p>■開催準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NewStand+ 様と日程に関する打ち合わせ</li> <li>・イベントに関する周知・チラシ作成</li> <li>・コミュニティ参加者への周知</li> <li>・SNS・市と連携した広報</li> <li>・地元商店への情報提供に関する協力依頼</li> <li>・地元商店会などへのセミナーに関する情報共有（都度）</li> <li>・ミニセミナーに関する講師役となる人物の募集・声掛けを行い、内容を決定する</li> </ul>

6月～3月	<p>■期間中に月1回の貸切営業を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月コミュニティ参加者やSNS上で営業日に関する周知を行った上で行う</li> <li>・団体のメインスタッフが2名、アシスタント3名所属しており、そのうち複数名が常時会場に居る状態とし、来場者同士の交流を促す役割を担う</li> </ul>
-------	---

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

気軽に立ち寄れるカフェスペースの提供により、移住者が「ここに行けば仲間がいる」と感じられる場所を提供することで、移住後の孤立感を軽減し、定着意欲の向上を後押しします。また、対面での深い交流を通じて、日常の困りごとを解消するサポートネットワークを形成します。

また、同時開催するミニセミナーを通して、移住者が自身の得意分野を発揮できる場を提供。他の移住者同士だけでなく、地元住民や観光客・移住希望者とも自然に交わることができる機会をつくることで、相互理解が深まり、移住者の地域貢献意欲の向上につながることができます。

そして、世代やバックグラウンドを超えた人的ネットワークが拡大する拠点となり、地域コミュニティ全体の結束力が高めることにつながります。

成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各回の来場者数 15名程度</li> <li>・ミニセミナーの参加者数 5名</li> <li>・来場者アンケートの実施「居心地の良さ」「来てよかったと思うか」などの5段階評価を4点以上</li> </ul>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載してください。</p> <p>来場者・参加者数についてはスタッフが計測 来場者アンケートは紙・及びウェブフォームにて収集・分析</p>
------	---	---------	---

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	<p>※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。</p> <p>沼津市への移住者は、アニメコンテンツのヒットや、県や市の施策によって増え続けており、弊社団体だけでも現在80名以上の移住者を擁している。その一方で、移住者の割合に単身者も多く占めており、そういった人たちの「定住」に向けた支援の不足が大きな課題となっている。</p> <p>本事業では多様なバックグラウンドを持つ移住者同士が相互に出会うことができる場の提供と機会を創出することで、移住者が地域社会に参画する機会を与え、「孤立感」の解消に寄与する。</p> <p>また、誰でも自由に立ち寄れる沼津市中心部の飲食店を貸し切って実施することで、移住者以外にも、地域住民や観光客にも波及効果が期待できる。</p> <p>さらに、コミュニティとしての活動拠点を設けることで、観光客やアニメファンなど多様な層にも開かれた、有益で質の高い交流事業となる。</p>
地域性	<p>※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。</p> <p>会場となるNewStand+は、移住者と地元住民との交流拠点を目指すことを掲げて作られた、昨年度の本事業による採択事業のひとつである。その場所を利用して、市内最大規模の移住者を中心とする団体が交流拠点として活用し、多様な移住者の能力を発揮するためのプログラムを実施することは、まさに地域資源の活用であり、民間まちづくり活動支援事業全体を通じた相乗効果が生まれているといえる。</p> <p>また、店舗の立地も沼津市中心部の大手町を通るさんさん通りに面しており、普段から地域住民や観光客などの往来も多い場所である。店舗自体を目的としてやって来る人も多いことから、移住者・地元住民だけでなく、観光客や移住希望者も巻き込んだカジュアルな交流の場として、中心市街地の活性化が期待できる。</p>

独創性	<p>※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。</p> <p>本事業の特筆すべき点は、移住者への交流場所の提供だけでなく、移住者の能力を発揮できるミニセミナーを行うということにある。</p> <p>弊団体は3月に「沼津スライドトークイベント」の主催を行なっている。初回のテーマは、移住者が移住に至るまでの経験を語るもので、80名超の来場者を迎えることができた。このイベントを通し、移住者が持つユニークな経験や能力を発表できる場の提供は、聴講者の知見を深めるだけでなく、登壇者自身の肯定感や認知度を高めることができるということに気づくきっかけとなった。また、イベント参加者からの「自身の得意分野について発表をしたい」という提案も多かったことから、本事業では移住者・地域住民問わず集える場の提供と同時に、それぞれが持つ個性や能力を発揮できる場として「ミニセミナー」を開催することで、毎回オリジナリティの高いイベントとして定着を図る。</p>
実現性	<p>※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。</p> <p>貸切に必要な会場使用料などは時間の調整によって月1万円程度に抑える予定で、令和7年6月から令和8年3月の期間内（月1回×10回）の実施については、沼津市「スタート支援型事業」（補助率9/10、上限10万円）を活用して初年度の会場費を賄う。</p> <p>既に会場となるNewStand+のスタッフとは打ち合わせを開始しており、おおまかな方針については合意済みである。またミニセミナーについても「沼津スライドトークイベント」で培ったノウハウを最大限活用して行う予定である。</p>
発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <p>令和7年度中に実施内容が参加者から好評となれば、令和7年度末以降も同様の事業を継続したいと考えており、来年度の「ステップアップ側事業」補助金の獲得や、スポンサーの募集なども検討しながら持続的なコミュニティ運営を目指す。</p> <p>将来的にはコミュニティメンバーによるワークショップの開催や近隣店舗のコラボ、他地域へのノウハウ提供などを目指し、波及効果の高いモデル事業へと育成する。</p>

### ◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

本事業では、月1回のカフェ貸切営業を「誰もが立ち寄れる移住者の居場所」「多様な移住者の能力を発揮する場」として定着させ、今年度はその運営モデルの確立と来場者層の把握を主な目的としている。次年度以降は、以下のようなステップアップを図ることで、事業の質・波及効果・持続可能性を高めていく。

#### ■活動水準の向上と機能拡張

- ・コミュニティ内の有識者メンバーによる各種ワークショップを独立したイベントとして開催
- ・近隣店舗と連携しコラボフードや商品を販売

### ◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。